

## 第 66 回日本農村医学会学術総会のご案内

下記により第 66 回日本農村医学会学術総会を開催いたしますので、会員多数のご参加をお願いいたします。

第 66 回日本農村医学会学術総会

学会長 青木 一雄

(琉球大学大学院医学研究科 衛生学・公衆衛生学講座 教授)

総会テーマ: 「地域活性化に向けた農村医学の将来展望  
～沖縄から日本、日本から世界へ～」

会 期: 2017 年 10 月 5 日(木)・6 日(金)  
会 場: 沖縄コンベンションセンター  
〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 4-3-1  
TEL: 098-898-3000

総会事務局: 第 66 回日本農村医学会学術総会 本部事務局  
琉球大学大学院医学研究科 衛生学・公衆衛生学講座  
〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 番地  
TEL:098-895-3331(内 2321) FAX:098-895-1412

第 66 回日本農村医学会学術総会 運営事務局  
株式会社アカネクリエーション MICE 推進部  
〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅 1-19-29  
TEL:098-862-8280 FAX:098-862-8891  
E-mail: jarm66@akane-ad.co.jp

### プログラム

1. 学会長講演(タイトル未定)  
琉球大学大学院医学研究科 衛生学・公衆衛生学講座 教授 青木 一雄
2. 特別講演  
I 「青森県の短命県返上活動から見えてくるもの」  
弘前大学 医学部長・社会医学講座教授 中路 重之  
II 「沖縄での国際医療拠点構想における医療情報システムへの展望」

Ⅲ「生涯現役、働くことへの支援の意義」

産業医科大学 学長 東 敏 昭

3. 教育講演

「感染症の水際対策と医療機関との連携」

厚生労働省 那覇検疫所長 本馬 恭子

4. 金井賞受賞講演

現在選考中

5. シンポジウム(タイトル未定)

6. ワークショップ(タイトル等未定)

7. 一般演題(口頭発表・ポスター発表)

8. 臨床研修医セッション

9. ランチョンセミナー(12 題予定)

**会員講演(一般演題、ワークショップ、臨床研修医セッション)について**

- (1) 一般演題、ワークショップ(一部公募)、臨床研修医セッションは、会員講演として公募します。
- (2) 本学会で発表される演題は、農村医学・予防医学・臨床医学・医療マネジメントを対象とします。
- (3) 発表者(共同研究者も含む)は、正会員に限ります。会員以外の方は事前に入会してください。
- (4) 一般演題は口頭発表またはポスター発表とします。口頭発表は8分(発表6分・討論2分)、ポスター発表は7分(発表5分、討論2分)を予定しています。
- (5) 主催者の判断により、一般演題に応募された演題でもワークショップで、あるいはワークショップに応募された演題でも一般演題として発表していただくことがあります。
- (6) ワークショップは口頭発表とし、進行は座長に一任します。
- (7) 臨床研修医セッションは口頭発表とします。症例発表を含め、どのような演題でも歓迎します。発表姿勢、内容、視覚資料のわかりやすさ等を総合的に判断して、優秀演題を表彰します。
- (8) 筆頭発表者は「日本農村医学会医学研究の利益相反(COI)細則」に基づいた規定の書式

により、利益相反の有無について申告を義務付けておりますので、入力時に必ず申告してください。「利益相反(COI)の内容」につきましては、学会ホームページをご覧ください。また、発表当日は、すべての筆頭演者の皆様に利益相反状態の有無に関わらず、COIの状況を開示いただきます。

## 参加者へのご案内

### 1. 参加費

#### (1)学会参加費

	事前参加登録	当日参加登録
医師	10,000 円	11,000 円
医師以外	6,000 円	7,000 円

#### (2)会員懇親会費 6,000 円

※会員懇親会は、10月5日(木)にラグナガーデンホテルにて開催します。

[会員懇親会会場]

ラグナガーデンホテル

〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 4-1-1 TEL: 098-897-2121

事前振込みについては、施設ごとに一括振込みも可能です。

詳細については 第66回日本農村医学会学術総会HP「事前参加登録」をご参照ください。

[第66回日本農村医学会学術総会ホームページ]

<http://www.jarm66.okinawa/>

### 2. 講演抄録集

会員には、第66回日本農村医学会学術総会抄録集(学会雑誌第66第3号、2017年9月)を事前に送付します。なお、希望者には実費(1部2,500円)で頒布します。

### 3. 宿泊

宿泊はホームページをご参照ください。

### 4. 会場アクセス

会場アクセスはホームページをご参照ください。

# 第 66 回日本農村医学会学術総会 演題申込要項

一般演題(口頭、ポスター)、ワークショップ、臨床研修医セッションを募集します。  
以下の職種を選択し、登録をお願いします。

## 職種

- |                        |                             |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. 医師                  | 10. 臨床工学技士                  |
| 2. 医師(研修医)             | 11. 臨床心理士・心理士               |
| 3. 歯科医師                | 12. 歯科衛生士・歯科技工士             |
| 4. 看護師                 | 13. 管理栄養士・栄養士               |
| 5. 保健師・助産師             | 14. 社会福祉士・精神保健福祉士・<br>介護福祉士 |
| 6. 薬剤師                 | 15. 事務員                     |
| 7. 診療放射線技師             | 16. 研究員・研究者                 |
| 8. 臨床検査技師              | 17. その他                     |
| 9. 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、他 |                             |

## I 演題の種類

### 1. 一般演題

以下の分類で募集します。大分類(A, B, C)と小分類(1, 2, 3, …)を選択してください。

一般演題の発表方法は口頭発表またはポスター発表です。主催者の判断により、演題登録時に希望した発表方法と異なる場合があります。あるいはワークショップでの発表をお願いする場合があります。

#### A. 農村医学・予防医学

- 1 農・林・漁業労働と健康
- 2 農薬中毒
- 3 農業災害
- 4 人獣共通感染症
- 5 農業アレルギー
- 6 環境保健・農村公害
- 7 生活習慣と健康
- 8 食の安全／食育
- 9 肥満／貧血
- 10 健康調査・健康教育
- 11 健康診断・人間ドック
- 12 在宅ケア・施設ケア
- 13 地域看護・地域福祉
- 14 メンタルヘルスケア
- 15 ヘルスプロモーション
- 16 農村医学と国際協力
- 17 情報管理
- 18 その他

#### B. 臨床医学

- 1 循環器疾患
- 2 呼吸器疾患
- 3 消化器疾患
- 4 血液疾患
- 5 糖尿病・代謝・内分泌疾患
- 6 アレルギー・自己免疫疾患  
・膠原病
- 7 脳神経疾患
- 8 運動器疾患
- 9 皮膚疾患
- 10 腎・泌尿器疾患
- 11 産婦人科疾患
- 12 乳腺疾患
- 13 小児科疾患
- 14 精神疾患
- 15 眼科疾患
- 16 耳鼻咽喉科疾患
- 17 口腔・歯科疾患
- 18 感染症
- 19 看護
- 20 リハビリテーション

- 21 放射線診断・治療
- 22 救急・災害医療
- 23 栄養
- 24 臨床工学
- 25 薬剤
- 26 臨床検査
- 27 放射線
- 28 ターミナルケア・緩和ケア
- 29 認知症
- 30 その他

#### C. 医療マネジメント

- 1 医療倫理
- 2 患者の QOL
- 3 地域医療連携
- 4 臨床研修・教育
- 5 診療情報管理
- 6 クリニカルパス
- 7 医療安全管理
- 8 病院運営・管理／施設管理
- 9 DPC
- 10 患者サービス
- 11 その他

## 2. ワークショップ

演題名はホームページをご確認ください。

演題を募集します。分類(1~4)を選択してください。

ワークショップの発表方法は口頭発表です。

多くの応募を歓迎しますが、応募が集中した場合は一般演題での発表となることもありますので、ご了承ください。

(検討中です)

## 3. 臨床研修医セッション

対象研修医は前期(初期)・後期を問いません。症例発表、研究発表等、どのような演題でも歓迎します。発表方法は口頭発表です。

なお、臨床研修医が一般演題に応募することも可能です。

# II 発表形式

## 1. 一般演題(口頭発表)・ワークショップ・臨床研修医セッション

液晶プロジェクターによる口頭発表とします。ビデオによる発表はありません。

発表データは、USBメモリ(Windows限定)でお持ち込みください。それ以外のメディアは受付できません。

《発表について》

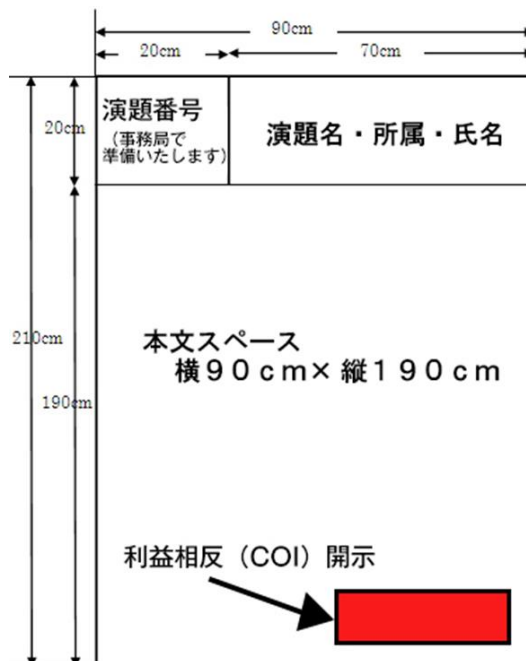
PCによるプレゼンテーションは、演台にセットされているモニター、キーボード、マウスを使用し、発表者ご自身で操作してください。

《データ作成について》

- (1) 使用 OS: Microsoft Windows XP/Vista/ 7/10
- (2) 使用ソフト: Microsoft Power Point 2003/2007/2010 / 2013
- (3) Power Point のスライドファイル容量: 50MB 以内
- (4) フォントは、Windows 標準のものをご使用ください。これ以外のフォントを使用した場合は、文字・段落のずれ、文字化け、表示されないなどトラブルが発生する可能性があります。
- (5) 動画等の参照ファイルは、必ず Power Point のファイルと同じフォルダに入れてお持ちください。動画ファイルは Windows Media Player で標準再生できるフォーマットのみ受け付けます。  
Macintosh や動画を使用される場合は、システム上対応できない場合がありますので、映像出力端子は D-sub 15pin が備わったご自身のパソコンをお持ちください。
- (6) 発表データの受付方法などは、後日、学術総会ホームページに詳細を掲載いたします。

## 2. 一般演題(ポスター発表)

- (1) ポスター展示用に、横 90cm、縦 210cm のパネルを用意します(右記のサイズです)。ご自分の演題番号のパネルに貼付してください。
- (2) 「演題・所属・氏名」は、各自で 20cm×70cm のサイズで作成してください。
- (3) 本文は、印刷した文章や図表・拡大写真を貼る等、工夫してください。
- (4) 画鋲は、事務局で準備します。



## Ⅲ演題申込方法

インターネットによる申し込みのみとします。第 66 回日本農村医学会学術総会のホームページ <http://www.jarm66.okinawa/> にアクセスし、「演題募集」「演題登録」をお読みいただいた上、PASRE(または Confit)の演題登録システムに従って登録してください。申し込み期間中の修正・削除は可能ですが、締め切り後は変更できません。演題受付、演題採用などは E-mail で通知します。

以上の方法が不可能な場合は下記までご相談ください。

第 65 回日本農村医学会学術総会 運営事務局  
株式会社アカネクリエーション MICE 推進部 (担当:安田・比嘉)  
〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅 1-19-29  
TEL:098-862-8280 FAX:098-862-8891  
E-mail : jarm66@akane-ad.co.jp

## 演題申込期間

2017年2月20日(月) 正午 ~ 2017年4月20日(木) 午後5時

演題の採否及びセッションへの割り振りは学会長に一任願います。

講演抄録集を発行します。抄録は J-STAGE に、登録・公開されます。

演題登録後、24時間以内に E-mail での演題受領通知が届かない場合は、運営事務局にお問い合わせください。(登録時に入力した連絡者のメールアドレスを再確認してください。)

## 登録上の注意事項

### 1. 抄録の文字数は 450 文字以上 550 文字以内とします。

キーワードを 3 つ以内で登録してください。詳しくは第 66 回日本農村医学会学術総会ホームページ上の「演題募集」「演題登録」をお読みください。

#### (1) 抄録は、原則、以下の構成に則ってください。

- ・緒言（はじめに、まえがき）…研究の目的を明確に記す。
- ・方法（研究方法、調査方法、解析方法、実験方法、等）
- ・結果（研究結果、調査結果、解析結果、実験結果、等）
- ・考察…結果の考察・評価・論述および知見の整理、関連する他の研究の説明。そこから導かれる結論の強調。
- ・結論（むすび）…新知見の要約を含む。

※症例報告の構成：緒言、症例（症例の詳述）、考察、結論

#### (2) 倫理的配慮のお願い

抄録の内容を再度ご確認ください、「倫理的配慮」がなされていない箇所がないかどうか確認の上、ご登録いただきますようお願いいたします。

<留意事項>

- 1) 対象者（代諾者）から研究ならびに発表の承諾を得たこと
- 2) 個人が特定されないように配慮していること  
例 年月日は 20XX 年、イニシャル表記→A さん、事例 I 等工夫する
- 3) 倫理委員会または施設の倫理審査を受けていること

(文例)

- ・本研究の主旨を文章にて説明し、研究参加への同意を確認した。
- ・本研究の主旨、匿名性の保持を口頭にて説明し、研究協力への同意を得た。
- ・対象者の家族に個人情報の保護について説明し、書面にて承諾を得た。
- ・院内の倫理審査の承認を得て、家族及び本人に説明し、文書にて同意を得た。

### 2. 図表は不可とします。

### 3. 共同研究者は 10 人までとします。

### 4. 登録された施設名で抄録集を作成しますので、下記要領で統一してください。

- (1) ○○厚生連△△病院 や 総合病院△△病院 は △△病院 とします。  
△△総合△△病院 は そのままとします。
- (2) 病院以外の場合は、○○県・△△センター や ○○県△△施設 とします。
- (3) 病院の場合は、○○病院△△科、○○病院△△科病棟（実病棟名ではなく、診療科名を付した名称）、○○病院△△センター等とします。
- (4) 大学の場合は、大学名および講座名とします。講座名の長いものは、簡略化して表記してください。

## IV.利益相反(COI)の開示

筆頭発表者のCOI開示は、第 64 回学術総会より必須となりました。

詳細については、本学会ホームページにある「利益相反(COI)」をご覧ください。

### 1.抄録登録時

演題登録時に、今回の発表内容に関連する企業との利害関係の有無を入力してください。利益相反が「有」の場合は、「筆頭発表者の COI 申告書」(様式1)をアップロードしてご記入の上、運営事務局に送信して下さい。

## 2.発表当日

- ①当日は、全ての筆頭演者の皆様に利益相反状態の有無に関わらず、COI の状況を開示いただきます。
- ②口演セッションの場合はスライドの最初に、ポスターセッションの場合はポスターパネルの最後に、所定の様式により開示をお願いします。スライドあるいはポスターで開示する場合の例示につきましては、本学会ホームページ「利益相反(COI)」内にある「利益相反開示のスライド例」をご覧ください。